

令和4年度 佐間地区 市民と市長のタウンミーティング

<開催概要>

1. 日時 令和4年6月17日(金曜日)午後6時30分～午後7時25分
2. 場所 佐間公民館ホール
3. 自治会出席者 11人
4. 市側出席者 市長、副市長、総合政策部長、建設部長、教育部長

<要望等回答一覧>

No.	意見・要望等	所管課 (発言者)	回 答
-----	--------	--------------	-----

No.	意見・要望等	所管課 (発言者)	回 答
1	<p>【行田市の人口について】</p> <p>年々人口減少が進んでいるが、増加の手立てはあるのか。移住者向けの補助金はあるが、他にはないのか。金銭的なことだけでなく、子育て支援も含めたサービスはあるのか。</p>	企画政策課	<p>本市では、子育て世帯の定住を促進するための住宅取得支援制度として、子育て世帯定住促進奨励金事業を平成25年度から実施していましたが、同様の制度を設ける市町村が増加傾向にあったこと、また利用者アンケートの結果、本事業が本市への移住に見合うインセンティブとなっていないことから、令和2年9月末をもって廃止いたしました。</p> <p>市といたしましては、本事業廃止後も引き続き移住希望者向けに作成したパンフレットを、本市を訪れる観光客の方にも手に取っていただけるよう、観光案内所などで配布しているほか、東京都内で行われる大規模な移住希望者向けのイベントに参加するなど、本市の魅力をPRしております。</p> <p>本市へ移住されてきた方をはじめとした市民の皆様が「行田市に住んでよかった」、「住み続けたいまち」と思っていただけの施策の充実に取り組んでおり、保育所及び学童保育室の待機児童ゼロの維持をはじめとした子育て環境や学力向上支援教員の配置を含めた教育環境の充実を図っております。</p> <p>今後も第6次行田市総合振興計画に位置付けられた様々な施策の展開を図り、「住み続けたい魅力的なまち」の実現を目指してまいります。</p>

No.	意見・要望等	所管課 (発言者)	回 答
1-2	東京からの移住者を取り込むような施策を行っているのか。お金を出すだけではだめで、取り込む環境が大事だと思う。子育て、仕事、移住をしてよかったというようなものがないと移住者は来ない。通いやすい学校づくり、子育て環境も含めて、今まで施策をやっていた気配を感じない。	企画政策課 (市長)	人口減少対策は、現状においては、これをやれば人口が増えるという対策はありません。そのような中でも、子育て環境が良いことが大事だと思っています。現在、小学校の統合を進めておりますが、子供たちが勉強する環境は、ある一定の人数は必要だと思っています。先日忍小の児童に会う機会がありましたが、友達が増えて良かったと言っています。人口減少対策は決め手がありません。まずは住んでいる市民が、住んで良かった、一生住んでいきたいと思えるまちづくりをこれからも徹底してやっていきたいと思っています。
		企画政策課 (総合政策部長)	移住してきた方にアンケートを取ったところ、移住の決め手が補助金であった方は7~8%しかいなかったため、補助金を出すだけということは違うと思っております。やはり、住んでいる人が住みよいと思う施策が必要と考えています。例えば、子ども医療費無償化は自治体によって制度に違いがありますが、行田市は18歳まで無償化しており、県内でも高いレベルです。人を呼び込んでいる市は、自分たちが行っている施策をきれいにまとめたパンフレットを作成したりなど、上手に発信しております。本市においても、行っている施策をきちんとご理解いただけるようにしっかり発信していこうと思っております。また、新たな施策についても現在、検討しているところですが、それと同時に今行っていることをしっかりパッケージで説明していきたいと思っています。

No.	意見・要望等	所管課 (発言者)	回 答
2-1	<p>【中学校区について】</p> <p>子供が中学に進学する際、学区の関係でクラスメートと別の中学へ進学となるが、改善を希望する。</p>	教育総務課	<p>近年、特に小中学校では9年間を見通した教育活動の必要性が増してきております。学区の再編成につきましては、保護者・児童生徒の意向も踏まえ、通学区域等審議会などにより有識者等の意見も伺い検討を進めてまいります。</p>
2-2	<p>No.2-1 は子供会からの意見として出させていただいた。友達がいけないなどの理由から不登校になっている子どもがいる。また、中には住所を祖父母宅に移して中学校に通う子供もいる。このような状況を早急に改善してほしい。</p>	<p>教育総務課 (教育部長)</p>	<p>小学校から中学校に進学するときに友達と離れてしまうことは実際多々あることだと思います。そういった不安から、住所を移している方も何例かございます。そのような状況があれば、学校と教育委員会でよく協議して、できるだけ本人の意向に沿った対応しているところでございます。通学する学校について具体的な要望がございましたら、教育総務課にご意見をいただければ検討してまいります。</p>
2-3	<p>中学の越境通学については、学区は行田中だが忍中に通っている例もある。理由として吹奏楽部が行田中にはないためである。過去には行田中に体操部がないため西中にいった子もいる。</p>	<p>教育指導課 (教育部長)</p>	<p>中学校の部活動については、生徒数の減少に伴いクラブ数も減っております。他市では野球のチームを複数の学校で作っている例もあります。国の考え方では、部活動は地域の指導者にお願いして、地域に移行していこうという動きになってきております。具体的なことはこれからですが、地域に移行する際はご協力をお願いいたします。</p>

No.	意見・要望等	所管課 (発言者)	回 答
3-1	<p>【行田市の未来について】</p> <p>行田市の未来は廃墟のような公共の建物とともにまったく明るくない。どんな明るい未来の行田市を想造しているのか。</p>	企画政策課	<p>昨年度からスタートした市の最上位計画「第6次行田市総合振興計画」では、「いにしえと未来を紡ぐ 誇れるまち行田」を、10年後の将来都市像として設定しております。この将来都市像の実現に向け、保育所や学童保育室の待機児童ゼロをはじめとした子育て環境の充実や学力向上支援教員の配置を含めた教育環境の充実、また忍城や古代蓮、足袋蔵などの観光資源を活用した交流人口の増加による地域の活性化の取組など、本計画に位置付けられた様々な施策に取り組んでまいります。</p>
3-2	<p>No.3-1で廃墟といったのは市役所庁舎のことで、他市に比べて古い。建て替える費用もないと思うのだが、将来的に庁舎と建てるお金が行田市にできるのか。消滅可能性都市に挙げられており、未来に明るさは全くない。</p> <p>行田市はこれからこうしたら明るい未来が広がるという施策はないのか。</p>	企画政策課 (総合政策部長)	<p>これさえすれば行田市の未来は明るくなるということではなく、色々なことをやっていかなければならないと思っています。例えば、花手水ライトアップで人を呼び込むことはひとつの明るい施策だと思っています。</p> <p>ただ、それだけではなく、国の地方創生のタイトルに「まち・ひと・しごと」とありますが、やはり仕事がないと人は集まりません。若小玉地区の県が造成している企業団地は、少し停滞しておりましたがようやく進み出しましたので、今後企業誘致が進展すると期待しております。</p> <p>行田には他市にはない歴史や県の公園などがありますので、そのようなものを含めトータルで訴えていき、パッケージで色々あることを見せて、わかっていただかないと人は来ないと思います。何かひとつというよりは色々な施策をやっていかなければならないと思っています。</p>

No.	意見・要望等	所管課 (発言者)	回 答
4	<p>【水害対策について】</p> <p>忍沼川から忍川への出口がふさいでいないが、越水が起きそうな場合、どうするのか。</p>	道路治水課	<p>忍川から忍沼川への逆流水については、必要に応じて忍沼川の両岸に土嚢を積み対応してまいります。なお、忍川から忍沼川への逆流水を防ぐ逆流防止堰については、埼玉県が進めている忍川下流部の河道拡幅や調節池の事業効果を見極めながら計画的に取り組んでまいります。</p>
5-1	<p>【(仮称) さきたま市場について】</p> <p>さきたま古墳広場に農産物直売所を作ると聞かすが、農協にある直売所に行くならスーパーのほうがまし。何を売なのか。食堂があったほうがいいと思うがうどん、そばだけでなくゼリーフライ、フライ、または、川魚を使った料理を出す店は考えられないか。土産も元の坂本のように古墳らしいもの考えたらどうか。</p>	商工観光課	<p>(仮称) さきたま広場内に建設を予定している施設は、令和5年4月の開業を目指す(仮称) さきたま市場として現在、一般社団法人行田おもてなし観光局による整備が進められております。</p> <p>(仮称) さきたま市場においては、販売面積も考慮しつつ、行田らしさを兼ね備えた魅力ある土産品など市内商品を主力として取り扱う物販施設を整備する予定であり、農産物直売所ではないと伺っております。</p>
5-2	<p>「(仮称) さきたま市場」では少しでも売り上げが伸びる物売ってほしい。</p> <p>また、古代蓮公園を足利フラワーパークが借りたいという話があったことあるが、思い切って売ったらどうか。</p>	都市計画課 (建設部長)	<p>足利フラワーパークの話は、今、はじめて聞きました。古代蓮の里を民間に売却したらどうかというお話ですが、当初は市直営で整備し、現在は直営ではなく指定管理者が自由度の高い経営で運営しておりますので、民間企業への売却は考えておりません。</p>

No.	意見・要望等	所管課 (発言者)	回 答
6	<p>【学校区について】</p> <p>現在、自治会の統合を進めている。その中で学校区があちこちにまたがっており問題となっている。向町では小学校区が3つとなっている。自治連としては、自治会の合併を先にして、合併後に学校の話をしようということになっているが、教育委員会で相談に乗ってもらえるのか。</p>	<p>教育総務課 (教育部長)</p>	<p>市では「学校適正規模・適正配置の基本方針及び再編成計画」を策定しており、その中で、学校に係るこの先の長期的な計画を示しています。</p> <p>地区の中で通学する学校が異なることについては、現在、行田地区・忍地区から具体的な要望書を教育総務課にいただいております。今後、通学区域等審議会などで検討してまいります。佐間地区においても要望書をいただければ検討することは可能です。要望にあたっては、子ども達や保護者の考えが第一になりますが、地域コミュニティとの関係もございましたので、よく話し合っていたいただきたいと思います。</p>
7	<p>【治水対策について】</p> <p>緑町地域は台風19号でひどい被害があり、後遺症がまだ残っているところもある。調整池が令和8年か9年にできるといいうが進捗状況を聞きたい。また、線状降水帯など集中豪雨が多く、少し雨が降ると緑町の真ん中に細い水路があり、地水が出る。</p>	<p>道路治水課 (建設部長)</p>	<p>忍川を管理している行田県土整備事務所において、国の補助を受け「浸水対策重点地域緊急事業」を進行しております。令和8年度までに調整池を作り、河川改修（佐間水門から下流部分については、河道の拡幅）を終わらせることになっており、順調に進行していると聞いております。</p> <p>市といたしましては、ポンプの増設、忍小学校の校庭貯留施設を今年度に工事着手します。市と県の役割を分担して、県の進める事業に整合させ今後とも実施してまいります。</p> <p>また、気象庁が線状降水帯の予測を近々始めるという情報もあります。当然、市においても逐一注視しながら市内の河川の水位を監視していきたいと思っております。</p>